

個人山行報告書

通算山行 no	NO.	報告者	横山滝子
年 月 日	2003年8月10日(日・晴)	二万五千円＝雁坂峠・金	
山 名	笛吹川支流・ヌク沢(沢登り)	峰山	
体力度＝4・ややきつい 技術度＝4・今回は大水でやや難しい 危険度＝4・大水でやや危険 見所＝3段260mの大滝は凄い 自然＝以前より堰堤が増えてガッカリ			
台風10号直後の激流を登る			
コースと タイム	西沢駐車場6:30—ヌク沢6:50—二股9:45—大滝下10:35—大滝上11:30—稜線12:50～13:10—縦走路13:20—徳ちゃん新道分岐14:30—徳ちゃん新道登山口15:50—西沢駐車場16:10		
標 高 差	ヌク沢入り口＝約1140m～木賊山＝約2440m＝約1300m		
参 加 者	CL後藤隆徳(56)、加藤秀子(54)、長岡浩一(43)、加藤 実(47)、ゲスト・横山滝子(30)		

昨日通過したばかりの台風10号は、雨風強く、その爪痕を笛吹川にも残していた。川は茶色い激流、こんな中、沢2回目の加藤 実さん、沢初体験の私が参加して、いったい大丈夫なのか・・・？

ヌク沢の入り口も激流。内心、沢をやめて、ハイキングに変更してくれないかなあ、と弱気。「まあ、甲武信岳登山道まで1時間くらいだから、そこまで行きましょう」のCL後藤氏の声にとりあえず・・・と後を追う。

沢は流れが速く、深みは、お互いのリックをつかみながら渡る。登山道手前で休憩していると、後藤さんが慣れた手つきで、振り出し竿を取り出し、釣りを始めた。この、荒れた沢では、まだ、魚のくいつきはない。

そこからしばらくで、登山道に出たが、時間が早いことと、沢の状態がよさそうなので、そのまま登ることになる。相変わらず、水量はやたら多い、滝は怒涛だ。滝の脇を巻き、堰堤も高巻きをするので、体力を消耗、休憩ごとやたらおなかが空いて、昼ごはんを食べてしまう。

岩場にイワタバコが可憐に咲いていた。かわいい。写真を撮る。シモツケも激流に揺られる細いピンクの花が、きれいだ。後藤氏、加藤(秀)氏のフォローよく、長岡氏も足取りは軽い、沢2回目の加藤氏も、いとも簡単に「ほいほい」登って行く。しかし沢、初心者の方は、足がおぼつかない。

小さな滑滝の水しぶきを顔に受けながら登っていくと、前方の山の上から、半端でない、大きな滝が真っ白くしぶきを上げているのが見えた。すごいねえ。あ



2017年5月
野山守具次



野山守具次
2017年5月

れに登るんじゃないんだよね・・・。「あれが大滝、あれに行くんだよ」とCL。「初級レベルだから大丈夫・・・」しまった、今更戻れない・・・。右沢と左沢の分岐に着くと、さっきの滝は見えなくなっていた。やっぱりあれは、違ったかも、しかし、登りつめると、さっきの大滝がすごいしぶきをあげている。この大滝は3段で260mと言われている。圧倒的なド迫力だ。

おお、これは圧巻（これはアカン！笑い）。下段は、水量が多く右を高巻く。中段の滝は、滝に登るが真ん中でザイルで吊り上げてもらった。上段は、これも水量が多く加藤さんが偵察に行くが、危険との判断で、左を高巻く。この高巻が滑りそうで恐怖だ。

滝を越え休憩。振り返ると大滝の向こうに夏雲が大きかった。井上陽水の「少年時代」である。そうだ！私はこの沢を登った記念にマウンテン・ネームを「多輝子」から「滝子」に改名しよ〜と。（笑い）

この上は、昨日の台風で土砂崩れになったようで、なぎ倒された倒木をまたいで越える。この辺りは、ナメが延々と続き、周りはシラビソの原生林が鬱蒼（うっそう）と繁る。美しい美しい森であった。沢だから経験出来るのだ。奥秩父の素晴らしさを十分感じた。

水が段々少なくなってきたが、ツメは中々終わらない。皆さん、やや疲れた表情。これが本当に「初級」の沢？と思いたくなる。でも後で本を見たら「中級」って書いてあった。まあ、「中級」なら納得。沢は単に滝などの難度でなく、標高差なども加味したグレード表示でなくっちゃ。

沢の幅が狭くなり、足もふらふらになると漸く沢は終わった。シラビソ林で着替えをし、待望のビアで「カンピャ〜」。美味しかったこと。全員、一つのことをやり遂げた爽やかな「顔」だった。

サッパリとし稜線（縦走路）を目指す。木賊山（とくさやま）まで長い長い。考えてみれば木賊山は2500m近くある。奥秩父と言っても馬鹿には出来ない。下りは、徳ちゃん新道を通ったが、これが長くこたえた。

下って、西沢溪谷入り口の茶屋（不動小屋）で、展望風呂に入り、ビールで反省会をした。この店、昔、西沢上部にあった頃、後藤さんが泊まった時に、火事があり、後藤さんが消し止めたそうだ。

先代の主人は少し前に他界した。生きていた頃は寄ると必ず「よもぎダンゴ」をくれたそうだ。今は娘婿が社長で頑張っている。そんなことで、昔の話に盛り上がった。今、西沢溪谷は観光名所だが、この不景気の中、経営は大変だそうだ。話が弾み、なんとお風呂代を無料にしてもらった。さすがCL後藤氏。今回はおかげで充実した山でした。

（今回は静岡・山スキーの会、横山さんに投稿して貰いました。）



益ノ奥平本
コ前門山寺
J式ワタ
以お奥平令
ワマテ、お
、ゆる下流

限益社



日1員T平C研会
館報遊中其水





